

令和5年度 第26回国頭地区中学校夏季総合体育大会空手道競技大会要項

- 1 主催 国頭地区中学校体育連盟
 - 2 共催 沖縄県教育委員会 国頭地区 PTA 連合会 国頭地区市町村教育委員会
 - 3 日時 令和5年 6月4日(日) 集合8:30(マット設置開始)
監督会8:50 審判会議9:20 開会式9:45
 - 4 会場 大宮中学校 体育館
 - 5 企画・運営 国頭地区中体連空手道専門部
 - 6 競技種目 男子個人組手・形 女子個人組手・形
男子団体組手・形 女子団体組手・形
 - 7 参加人数 団体形・・・男女とも各2チーム以内 ※地域クラブは1団体1チームのみ
個人形・・・男女各4名以内
団体組手・・・男女とも各1チーム
個人組手・・・男女各4名以内
 - 8 参加申込 申込用紙に必要事項を記入の上、夏季総体申込〆切(5月8日月曜日15時)までに久辺中学校の宮里聡仁先生宛に提出する。郵送か直接持参すること。
 - 9 競技規則 (公財)全日本空手道連盟規則並びに国頭地区中体連空手道専門部の申し合わせ事項に準ずる。
 - 10 競技方法 (1) 形競技(個人戦・団体戦)
 - ① 形競技(得点方式)
 - ア ROUND 1は第1指定形、鉄騎(ナイハンチ)、三戦、撃砕、平安(ピンアン)から選ぶ。
 - イ ROUND 2は第2指定形から選ぶ。
 - ウ ROUND 3は得意形から選ぶ。 ※ ROUND 1、ROUND 2で使用した形も使える。
 - エ 同点再演部では、本戦と違う形を演舞する。
 - (2) 組手競技
 - ① 競技時間等は以下のとおりとする。
 - ア、個人戦
1分間のフルタイムとし、6ポイント差で勝負を決する。
準々決勝から1分30秒間のフルタイム、6ポイント差で勝負を決する。
 - イ、団体戦
1分間のフルタイムとし、6ポイント差で勝負を決する。
準々決勝から1分30秒間のフルタイム、6ポイント差で勝負を決する。
1、2回戦は大將戦まで行う。3回戦以降は、勝敗が決まった段階で試合終了とする。
規定の過半数の選手(2人)で成立する。オーダーは前詰めとする。
 - ② 競技者はニューメンホー(V・VI) ※マウスシールドも着用する、プロテクター、セーフティカップ(男のみ)、拳サポーター(全空連認定の青・赤)、シンガード、インステップガードの安全具を着用する。
- ※申込人数が少ない場合やコロナ感染状況に応じて、競技方法を見直し監督会にて確認する。
- 11 組み合わせ 第22回国頭地区新人大会の結果で上位4位、第16回沖縄県中学生空手道春季大会の上位8名の選手をシードする。その他は令和5年5月17日(水)の監督会で抽選する。場所:未定(21世紀の森体育館予定)
- 12 参加料 一人につき500円(5月17日の監督会で徴収)
- 13 表彰 競技別に団体、個人とも優勝・準優勝・3位を表彰する。
各競技の上位校(選手)に得点を与え、総合優勝校を決定し、優勝旗を与える
- 14 県大会参加 県大会の出場は形、組手競技とも団体上位4チーム、個人上位8名とする。
- 15 コロナ感染症対策について 国頭地区中学校体育連盟主催大会参加可否に関する判断基準及び、国頭地区中学校体育連盟主催大会実施上の新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに則り、開催近日のコロナ感染状況に応じ、監督会にて確認する。
なお、状況に応じて競技方法、開催期日等が変更する可能性もある。
- 16 その他 (1) 選手は必ず学校名を空手着の左胸に縫いつけること。
(2) 各学校の引率教員に大会役員(補助員)を割り当てる。
(3) 引率者の服装は白のワイシャツかブラウス・ポロシャツで統一とする。

第25回国頭地区中学校夏季総合体育大会空手道競技「細則」

1 選手の服装など

- (1) 空手着は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止とする。
- (2) 学校名が左胸にあること。(文字は黒色の縦書きで20 cm×8 cm程度、安全ピンで留めてある場合は棄権とする)
- (3) 上着の袖の長さは、最長手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。
- (4) ズボンの長さは、脛を覆うほどの長さとし、踝が隠れてはならない。
- (5) 競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような物を身につけてはならない。
- (6) 女子選手の髪留めのゴムバンドは黒か茶のみとする。その他の装飾品は認めない。
- (7) 女子の肌着は白無地のTシャツとする。(ワンポイント、校名は認める)
- (8) 競技者の服装が正しくなかった場合、服装を正すために1分間が与えられる。(正せない場合は失格)
- (9) 空手着のヒモは結ぶこと。ヒモなしの空手着は不可とする。
- (10) 帯の長さは、大腿部の3/4を超えない程度とする。また、帯留めは使用してはならない。

2 形競技

- (1) 「(公財)全日本空手道連盟指定形」とは以下の形である。

【第1指定形】

- ・糸東流(セイエンチン、バツサイダイ)
- ・剛柔流(サイファ、セーパイ)
- ・松濤館流(カンクウダイ、ジオン)
- ・和道流(セイシャン、チントウ)

【第2指定形】

- ・糸東流(マツムラローハイ、ニーパイポ)
- ・剛柔流(セイサン、クルルンファ)
- ・松濤館流(エンピ、カンクウショウ)
- ・和道流(クーシャンクー、ニーセイシー)

- (2) 団体形の演武において発声が認められるのは「形の呼名」と「演武中の気合い」のみとする。
- (3) 各ラウンドで使用できる形の種類は次の通りとする。

ラウンド	使用できる形
1	第1指定形、鉄騎(サイフチ)初段～3段、三戦、撃砕I・II 平安(ヒソアン)初段～5段
2	第2指定形
3	得意形 (ROUND 1, 2で使用した形も使用できる)

- (4) 演武開始の礼と終了の礼をしなかった場合、反則となり得る。

3 組手競技

- (1) 得点となる攻撃部位は下記の通り。
「頭部」、「顔面」、「頸部」、「腹部」、「胸部」、「背部」「わき腹」である。
- (2) 得点の種類は下記の通り。
「1本」=3ポイント、「技あり」=2ポイント、「有効」=1ポイント
- (3) 下記を基準に得点部位への技に対し点が与えられる。
「良い姿勢」、「スポーツマンらしい態度」、「気力」、「残心」、「適切なタイミング」、「正確な距離」
- (4) 禁止行為は下記の2つに分類される
 - ①カテゴリー1 (C1と表記)
 - ・攻撃部位への過度の接触技
 - ・腕、又は脚部への攻撃、股間部、関節、又は足の甲への攻撃
 - ・貫手又は開手による顔面への攻撃(手刀、背刀は除く)
 - ・負傷の原因となる危険な、又は禁止されている投げ技、ウエストから下を持つこと
 - ・倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが当たった場合。
 - ②カテゴリー2 (C2と表記)
 - ・「誇張」、「場外」、「無防備」、「逃避行為」、「不活動」、「不必要な組み合い」、「コントロールされていない危険な攻撃」「頭部、膝、肘での攻撃をしようとした場合」、「不作法など」
 - ・倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが空振りした場合。

4 競技別得点(男女共通)

順位	1位	2位	3位
団体戦	15	10	7
個人戦	10	7	5

※同点の場合はベスト8に入った選手の人数が多い方とする。